たんぽぽだより

令和8年2月号　　No.127
砂川市病児・病後児保育施設
Tel　　0125-54-2278

暦の上では春ですが、まだまだ寒い日が続いています。空気が乾燥して感染症が流行しやすい時期でもあります。引き続き、手洗い・手指消毒をしっかり行い感染症予防をしながら元気に過ごしていきましょう。先月は、感染性胃腸炎、急性上気道炎での利用がありました。

大豆食品を食べよう！

大豆は栄養の宝庫。良質なタンパク質が多く、その他にもさまざまな栄養素が含まれています。５歳以下のお子さんは硬いままの大豆を食べると、窒息・誤嚥の危険性があるので、やわらかく煮たものや、納豆や豆腐、厚揚げなど、いろいろな大豆食品をとると良いですね。

病児・病後児保育の登録をしませんか？

子どもが病気…でも！仕事は休めない…。

病気の治りかけの時、「あと数日看病してあげたいのに、仕事を休めない…」

そんな時は病児・病後児保育をご利用ください.

※年度ごとに登録が必要です。

おなかのかぜ、しっかり消毒、しっかりブロック！

ウイルス性胃腸炎を起こすノロウイルスやロタウイルスには、アルコール消毒が効きません。おう吐物や下痢のうんちが付いた衣類や床は、必ず塩素系消毒液で消毒しましょう。塩素系消毒液は、酸性の製品やアルコールなどと混ざると、有害なガスが発生して危険です。必ず単独で、水で薄めて使用してください。

しっかり準備

使い捨ての手袋とマスクを着け、ポリ袋、ペーパータオルなどを用意します。消毒液は適切な濃度に薄めておきましょう。窓を開けたり、換気扇を回したりして、換気します。

きっちり消毒

ペーパータオルや雑巾で、おう吐物を取り除きます。

● 衣類は
消毒液につけて消毒するか、85℃以上の熱湯に1分間つけてから、ほかのものと分けて洗濯します。

● おう吐物が付いた床や家具
消毒液を浸した雑巾でふき取り、その後、水ぶきします。

ごみをぴったり密封

おう吐物をふいたペーパータオルや雑巾は、ポリ袋に入れて消毒液をかけてから、しっかり密封します。二重にすると安心です。可能なら、ごみは回収日まで外に保管しましょう。